

No	市町村	意見
1	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・鵜川橋上流部右岸側タンポポ公園内の小河川を子ども達の遊び場（川に親しむ場所として）とすべく改修が出来ないか検討してほしい。 ～私達が幼少のころ水遊び、魚釣り、泳ぎ場として親しんだ古里の川としての位置づけ的なものとして～
2	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・鵜川流域の住民にとって、防災に対する意識が高まる中、河川整備計画は、地域にとっての大きな課題となっています。近年の温暖化による環境変化が進み、局地的なゲリラ豪雨が発生し、これに対応する河川管理が重要となっています。ますます、国が住民の安全、安心のために守っていただきたいと思ひます。
3	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・築堤整備・河道掘削・護岸 又、河川敷内の整備時は鵜川はもとより小河川もその施工内容、始める日を「公報」などで具体的にお知らせください。 ・植物などは開花時期にしかその存在が分からないものです。生き物の情報などは限られた人しか知らないのが現状です。自然環境の保全のため地域の情報をお知らせする機会が必要です。 ・鵜川水系の砂防ダムに関するこれからの考え方などをお聞きしたい。 健全な自然が大切だと思う。
4	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・鵜川における砂利採取の現状とそれに対する規制はどうなっているか。河川の流砂量は沙流川に比べてはるかに少ないのが鵜川の特徴のひとつといわれている。河口テラスの保全のためにも採取に対する規制は重要と思う。 ・室蘭開発による「鵜川河口保全計画」（干潟を保全するための対策工法）はまだ生きているか。その中で「河岸侵食保護工（水制工）」の効果について情報を知りたい。
5	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・過去10年間「かわ塾」を実施してきて、水位の低下にオドロイている。上流部の森林伐採が進んだ結果だろうか。10年前には子どもたちばかりか、大人も川を渡ることが容易ではなかったが、今日では、多少雨が降った後でも容易に渡ることが出来る。上流部での植樹活動を進めることが必要と思ひます。 ・鵜川の河川整備に当たってカヌーや子どもたちの川遊びができるよう配慮して欲しいと思ひます。
6	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・総体的には色々な面に配慮された計画で素晴らしいと思ひますが、総花的。20年にわたる計画ですので、今想定される原因をとらえ、20年先の目標をしっかりと定める事が重要と考えます。森、川、海、地球環境の温暖化など基本的な課題、問題点をしっかりととらえる事が大切です。 なぜ洪水になるのか、なぜ流水が下がるのか、なぜ流量が減っているのか、これらの原因は当然のごとく調査されていると思ひますが、今一度、木を切れば保水性が失われる、田んぼが作られなくなれば保水性が低下する等々の事を考え、基本のきをpushした上でさまざまな取り組みが必要。と同時に国、道、町の線引きを超えた取り組みも必要。自然は全てが一体となって循環している事を忘れてはならないと思ひます。 とりとめのない文となりました。以下疑問、意見、要望、やりたいこと等を記載しました。 ・河道の掘削などは極力避ける事。川は川自体が形成して行くものと考えます。よって河畔林、河道、河床の削減、河道内樹木の伐採、間伐などは十分な調査、研究シミュレーション後、町民に対する説明が必要と考えます。 ・河道改修はほんとうに自然環境を破壊しない方法でお願いしたい。川の性質を知っている先生などの調査、意見などを聞いて20年後と言わずもっと長い目で慎重に進めてほしい。 ・時代の流れに沿って色々な工事がなされて、災害時の家屋や人命を守ることは必要ですが、川からの恵みは人間を含め動植物や海の影響を及ぼします。川もそこに生きる人々や動植物と共生出来るはず。このような視点で保護、保全、再生に莫大な金がかかっても良いと考えます。現在は今ある清流鵜川を維持できるようさまざまな事を行かなければなりません。 ・河畔林、鵜川に流れ込む多くの支流等を調査し、鵜川に及ぼす影響を調べて行きたい。 ・柳葉魚の産卵場所を守りたい。タンポポ公園の小川を大改善して自然産卵に近い形で孵化をさせていきたい。 ・柳葉魚の人工孵化の効果は薄いと思ひます。十勝、釧路で行っている人工孵化の成果を知りたい。 ・穂別ダムの使用価値が無いとすれば、ダムに沈泥した濁流が鵜川本流に流れ水質を変えているのではないかと。その及ぼす影響を知りたい。

No	市町村	意見
6	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・人工干潟の保全も必要だが、干潟まで行く工事道路は当初と違っている。砂利を入れることで歩きづらくなり、草の生えている横道を通ることで移植したハマナスも消えた。人が車かも定かではないが、矛盾しているかもしれないが工事専用道路はどうあるべきか話し合うべきでは。 ・洪水の流木は伐採した木材を放置したり、川の近くの木々を乱伐する事で鉄砲水となる。それらを制することや、川から何キロ伐採しないなどの規制をするなどして、洪水時の水の発生源を調べることも必要。原因を制しないで結果ばかりではお金の使い方の感覚が違っている。 ・木を切らせない。森を買うなどして自然災害を減らすなど発想を変えることも必要では。 ・水の利用方法も発想を変え、考えて行く時代ではないでしょうか。 <p>とりとめもなく書いて申し訳ありません。</p>
7	-	<ul style="list-style-type: none"> ・鵜川特有の自然（シシャモのそ上、稀少種野鳥）は、将来に残していかなければならないものであり、国が責任を持って管理すべき河川である。また長大で流域面積も大きく、災害時の被害は甚大なものと想像される。住民の安全・安心な暮らしのために国が管理すべき河川である。
8	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・近年のゲリラ的大雨による災害により、道路が土砂崩れ等で通行止めとなるため、一部集落では孤立する状態が見受けられます。その際に緊急的な措置として築堤の利用ができれば、住民の生活に安心が守られると思うのですが、検討していただければと思います。
9	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水対策に関する河道内樹木についてだが、たしかに流水の支障になると思うが、計算ではほとんど処分するとのこと。支川または上流部で植樹活動を積極的に行っている反面、河道では伐採が実施されると感情的な問題に発展する。具体的な数値で %は保全するなど示すべきでないか。いつぞやは、親水空間として整備を進めた時代もあったが、災害と隣りあっている困難な部分は理解している。
10	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・平成4年度の洪水では、我家の耕地（河川用地含）の約半分が被害を受けている。原因は無堤地区である事と思われるが、大規模災害では堤防地区、内水対策が実施されている地区でも被害はやむえないものと考えます。河川整備計画の中では、十分に自然環境に配慮され、地域の実情（声）を踏まえたもので、効果的に実施される事を願います。
11	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・（2-1-3（3）関係）シシャモの産卵環境の保全に関して、シシャモ資源が減少する中、地元では孵化事業等による資源回復の取組みが必要であることから、孵化事業等を実施する場合の河川の利用について、協力連携の視点を加えていただきたい。 ・（2-1-3（5）関係）地域においては、河川環境の観察やカヌー体験など川に親しむ活動が展開されており、カヌーの発着場整備など親水空間の整備を期待します。
12	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・本町は、これまで鵜川フィールドにカヌーや川遊びなど、多くの子どもたちが川に親しむ機会を設け、環境学習の場として利用している。そんな取り組みの一環として鵜川を象徴する魚類であるししゃもと触れ合いながら自然環境を学習できるような取りくみを期待したい。
13	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・一級河川「鵜川」は、北海道の太平洋沿岸のみに分布している固有の「ししゃも」が遡上し産卵する重要な河川であり、自然環境の中で産卵させることが「ししゃも」資源を守るために最適であります。したがって、貴重な資源を守るためにも自然環境を破壊することのないようにしていただきたい。
14	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な地域資源であるサケやシシャモの遡上や産卵環境の保全に配慮する必要性に同調するとともに、清流鵜川が地域住民には交流人口につながる親しみのある環境整備も必要と考える。（たとえば、花岡地区の水辺の学校等、比較的水位が低く安全性の高い場所を地区指定し、気軽に河川と親しむことができる環境を整備する。）
15	むかわ町	<ul style="list-style-type: none"> ・河川整備計画において、洪水等による災害の軽減対策を優先し整備を図ることが肝心と考えます。中でも河道の確保について、魚類・鳥類等の生息・生育に配慮しつつ進める必要があると思います。
16	-	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の自然現象をみると、突然の豪雨、暴風など何が起こるか分からない恐さを感じます。川は命、汚さない、きれいな水は草木よりいただく、開発は最低限の必要なものだけ、自然を金もうけの手段にしない事、自然を破戒することは、人間をこわすこと、等一人一人がモラルの約束をしていきたいものです。